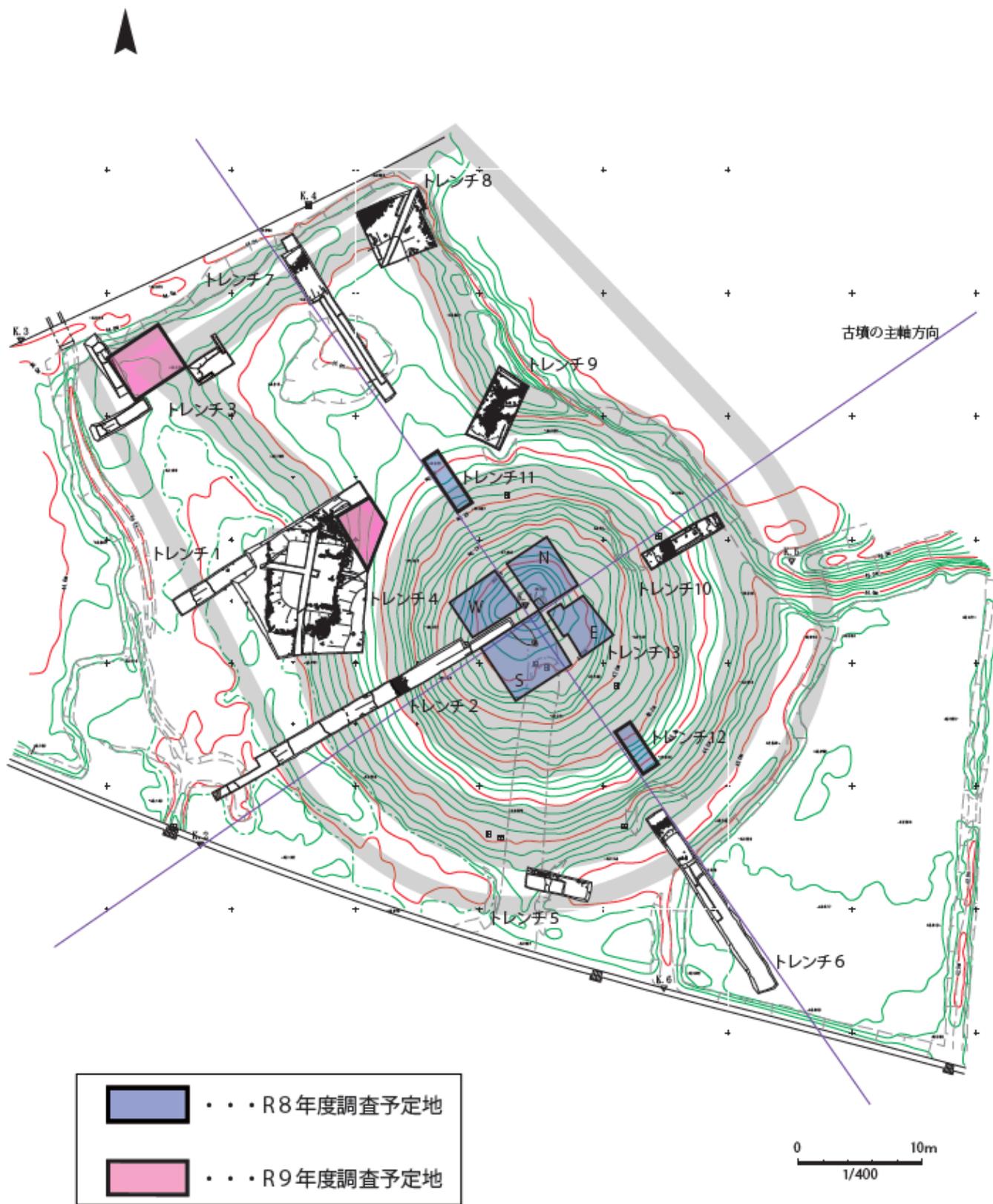


かぶと  
冑の発見について

ふじやま  
—富士山1号墳（第5次調査）—

- 1 富士山1号墳について（別紙1）
- 2 第5次発掘調査の成果について（別紙2）
- 3 こざねびょうどめしょうかくつきかぶと  
小札鉾留衝角付冑について（別紙3）
- 4 調査成果と今後の予定（別紙4）

鈴鹿市 文化スポーツ部 文化財課 課長 大窪 隆仁  
担 当 文化財課 発掘調査GL 伊藤 和彦  
調査担当 文化財課 発掘調査G 岡 紗和子  
電 話 059-374-1994（考古博物館内） 382-9031（文化財課）  
F A X 059-374-0986



富士山1号墳（第5次）トレンチ配置図（R8.2現在）

# 富士山 1 号墳について

## 1 発掘調査の目的

富士山 1 号墳の規模や年代、構造等を明らかにし、鈴鹿市の史跡として指定できるかどうかを判断する

## 2 発掘調査の経過

- ・令和元年度 河曲地区まちづくり協議会による竹の伐採
- ・令和2年度 事前調査  
現況図作成 → 54m前後の帆立貝（ほたてがい）式前方後円墳と推定
- ・令和3年度 第1次調査  
トレンチ 1～3 → 造出（つくりだし）の発見、葺石（ふきいし）・埴輪（はにわ）あり、  
2段築成（ちくせい）、馬蹄形の周濠（しゅうごう）  
※現地説明会開催（R3. 12. 11）
- ・令和4年度 第2次調査  
トレンチ 4～6 → 造出で埴輪列の中央から陶質（とうしつ）土器（須恵器（すえき））出土  
後円部南の盛り上がり（陸橋（りくきょう）か？）は後世の盛り土と  
判明  
※現地説明会開催（R4. 12. 10）
- ・令和5年度 第3次調査  
トレンチ 7・8 → 全長 55.7mと判明、前方部北東隅を特定
- ・令和6年度 第4次調査  
トレンチ 9・10 → 北側のくびれ部を特定、後円部上段の直径 25.4m、テラス幅  
2.5m前後と確認
- ・令和7年度 第5次調査  
トレンチ 11～13 → 粘土槨（ねんどかく）の埋葬施設を検出（現在調査継続中）、  
小札鋳留衝角付冑（こざねびょうどめしょうかくつきかぶと）が出土

### 3 基礎情報（令和8年2月現在の知見）

- ・時期：5世紀後半（古墳時代中期後半）
- ・所在地：鈴鹿市国分町字富士山越
- ・墳形：帆立貝式前方後円墳（造出付き）
- ・規模：全長 55.7m（各部位の推定規模：前方部の長さ 18m、幅 28m、高さ 1 m、後円部の直径 38m、高さ 6 m）
- ・葺石：あり
- ・築成：二段
- ・周濠：馬蹄形
- ・主な出土遺物：埴輪（円筒・朝顔形・形象か）、陶質土器か、須恵器、土師器、小札鋌留衝角付冑

### 4 指導委員

おざわ つよし 小澤 毅（三重大学 名誉教授・鈴鹿市文化財保護審議会委員・三重県文化財保護審議会委員）

きしもと なおみ 岸本 直文（大阪公立大学 教授）

ながとも ともこ 長友 朋子（立命館大学 教授）

### 5 既刊の印刷物

- ・速報展パンフレット  
「発掘された鈴鹿」2020～2024（5年分）  
※現在 2025 作成中（R8. 3. 14 刊行予定）
- ・現地説明会資料  
富士山 1 号墳第 1 次発掘調査 現地説明会資料（R3. 12. 11）  
富士山 1 号墳第 2 次発掘調査 現地説明会資料（R4. 12. 10）
- ・発掘調査概要報告  
『鈴鹿市考古博物館年報』第 23～26 号（4年分）  
※現在第 27 号作成中（R8. 3. 31 刊行予定）

## 第5次発掘調査の成果について

- 1 調査期間 令和7年12月1日から令和8年3月31日（予定）まで
- 2 調査場所 鈴鹿市国分町字富士山越
- 3 調査主体 鈴鹿市 文化スポーツ部 文化財課 発掘調査グループ
- 4 調査面積 105 m<sup>2</sup>

### 5 調査成果

- ・墳頂（後円部の中央）を調査したところ、粘土で覆われた埋葬施設（粘土槨）を発見した
- ・その粘土槨の東端で、鉄製の小札鋌留衝角付冑が出土した
- ・冑は脆弱であったため、2/16～18に公益財団法人 元興寺文化財研究所に委託して養生しながら取上げた。現在は博物館で保管しており、今後、早急に保存処理を行う予定としている
- ・今年度は冑の取上げまで行うこととしたため、埋葬主体の調査は未完となっている。次年度、有識者の指導のもと再調査する予定である



埋葬主体の検出状況（南東から）



冑の出土状況（東から）



冑の内側の小札の様子（南西から）

こざねびょうどめしょうかくつきかぶと  
**小札鉾留衝角付冑について**

1 小札鉾留衝角付冑とは

- ・頭を防護する鉄製の武具の一つ
- ・古墳時代に使われ、主に中期の古墳に副葬されている
- ・古墳時代には、主に①衝角付冑、②眉庇（まびさし）付冑があり、③蒙古鉢（もうこぼち）形冑も少量の出土例がある

【名称の由来… 素材 + 綴じ方 + 形状】

小札…長方形の薄い鉄の板

鉾留…小札などの部品同士を同じく鉄製の鉾でつなぐ方法のこと

衝角付…正面の突出した形状が、軍艦の舳先にある衝角に似ることから

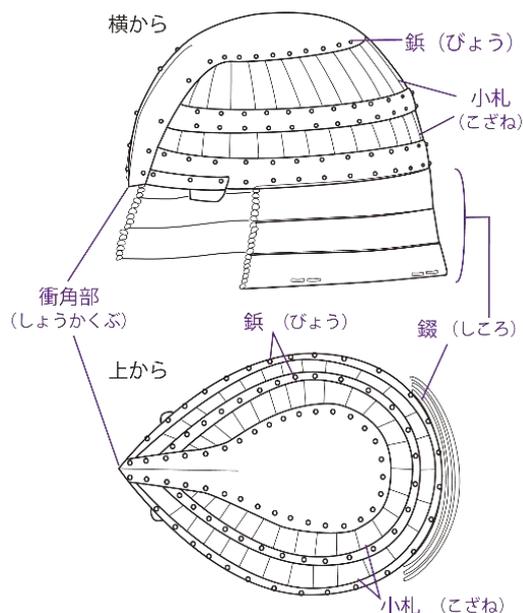
【古墳時代の冑の変遷】



わき塚1号墳出土 甲冑  
伊賀市教育委員会 蔵



近代古墳出土 甲冑  
三重県埋蔵文化財センター 保管



三重県出土の甲冑（かつちゆう）の事例

小札鉾留衝角付冑のイメージ図

2 全国の衝角付冑の出土事例

・2012年現在で、全国で30例程度しかない

資料名	底板 連結 手法	伏板 先端 処理 手法	型式名	鋳		地 板						鋳							
				突出 鋳	円頭 鋳	上段地板			下段地板			衝角部 堅矧板	合計 枚数	後頭部 幅広小札	構成 枚数	袖 鋳	最下段 抉り	前面 覆輪	鋳分 類名
						左	後	右	左	後	右								
堅矧板鋳留衝角付冑 (A類)																			
兵庫県 茶すり山	上接式	折曲	Ⅲ	×	○	6	1	6	同左			×	13	×	3	×	×	×	A1
堅矧板鋳留衝角付冑 (B類)																			
京都府 久津川車塚1号冑	上接式	折曲	Ⅲ	×	○	14	1	16	同左			×	31	×	—	—	—	—	—
大阪府 七観 末永報告5号冑	上接式	折曲	Ⅲ	○	×	19	1	17	同左			×	37	×	2	×	×	×	A1
堅矧板鋳留衝角付冑 (C類)																			
大阪府 狐塚	上接式	折曲	Ⅲ	×	○	1	1	1	同左			×	3	×	2	○	×	×	B1
徳島県 恵解山1号	上接式	折曲	Ⅲ	×	○	3	1	3	同左			×	7	×	4	×	×	×	A1
小札鋳留衝角付冑																			
京都府 久津川車塚2号冑	上接式?	折曲?	(Ⅲ)	○	×	9	1	8	(10)	1	10	×	(39)	×	—	—	—	—	—
京都府 久津川車塚5号冑	上接式?	折曲?	(Ⅲ)	○	×	9	1	(9)	10	1	9	×	(39)	×	—	—	—	—	—
大阪府 珠金塚南塚(A)	上接式	折曲	Ⅲ	×	○	14	1	14	14	1	14	2	60	×	5?	○	×	×	B1
大阪府 珠金塚南塚(B)	上接式	折曲	Ⅲ	○	×	10	1	10	14	1	14	×	50	×	3?	×	×	×	A1
兵庫県 雲部車塚	上接式	折曲	Ⅲ	○	×	13	1	11	14	1	14	×	54	×	2?	×	×	×	A1
兵庫県 伝雲部車塚	上接式	折曲	Ⅲ	○	×	12	1	12	(12)	(1)	(12)	×	(50)	×	—	—	—	—	
京都府 岸ヶ前2号	上接式	折曲	Ⅲ	×	○	18	1	18	20	1	21	×	79	×	3	×	×	×	A1
福岡県 堤当正寺	上接式	折曲	Ⅲ	×	○	19	1	19	19	1	19	2	80	×	4	×	×	△	A1
大阪府 御獅子塚第2主体	上接式	折曲	Ⅲ	×	○	17	1	17	17	1	17	2	72	×	4	○	×	×	B1
熊本県 マロ塚	上接式	折曲	Ⅲ	×	○	20	1	22	23	1	21	×	88	×	—	—	—	—	
奈良県 市尾今田1号	上接式	折曲	Ⅲ	×	○	15	1	15	16	1	16	×	64	×	—	—	—	—	
福井県 饅頭山	上接式	折曲	Ⅲ	×	○	—			—			—	—	—	—	—	—	—	
福岡県 新原・奴山1号	上接式	折曲	Ⅲ	×	○	—			—			—	—	—	—	—	—	—	
千葉県 姉ヶ崎二子塚	上接式?	折曲?	(Ⅲ)	×	○	—			—			×	—	—	—	—	—	—	
奈良県 円照寺墓山1号	上接式	折曲?	Ⅲ	×	○	(20)	1	(20)	(20)	1	(20)	×	(82)	○	3?	×	×	○	A2
兵庫県 法花堂2号	上接式	折曲	Ⅲ	×	○	18	1	18	19	1	20	×	77	○	4	×	×	○	A2
岡山県 正崎2号	上接式	折曲	Ⅲ	×	○	(18)	1	(18)	(21)	1	(21)	×	(80)	○	3	×	○	○	C2
宮崎県 島内115地下式横穴	上接式	折曲	Ⅲ	×	○	21	1	20	23	1	22	×	88	○	4	×	○	○	C2
奈良県 新沢281号	内接式	折曲	IVa	×	○	12	1	12	14	1	14	×	54	×	3	×	○	○	C2
宮崎県 堅山	内接式	折曲	IVa	×	○	(34)	1	(34)	(34)	1	34	×	(138)	×	4	○	×	×	B1
大阪府 唐櫃山	内接式	折曲	IVa	×	○	—			—			—	—	—	—	—	—	—	
奈良県 今井1号	内接式	折曲	IVa	×	○	17	1	17	20	1	18	×	74	○					
福井県 西塚	一連	折曲	IVa相当	×	○	(23)			(32)			×	(55)	×					
群馬県 鶴山	外接式	折曲	Va	×	○	16	1	17	20	1	20	×	75	○	3	○	×	○	B2
茨城県 武具八幡山	外接式	切断	Vb	×	○	—			(25)	1	—	×	—	—	3?				
宮崎県 島内1号地下式横穴	外接式	切断	Vb	×	○	20	1	21	23	1	23	×	65	○					

○:存在する △:存在する可能性がある ×:存在しない —:不明 空欄:未確認 ( ):推定

鈴木一有 2012 「小札鋳留衝角付冑の変遷とその意義」  
『国立歴史民俗博物館研究報告』第173集より引用

3 三重県での出土例

・小札鉾留衝角付冑は初出土、冑自体の出土例でも 7 例目

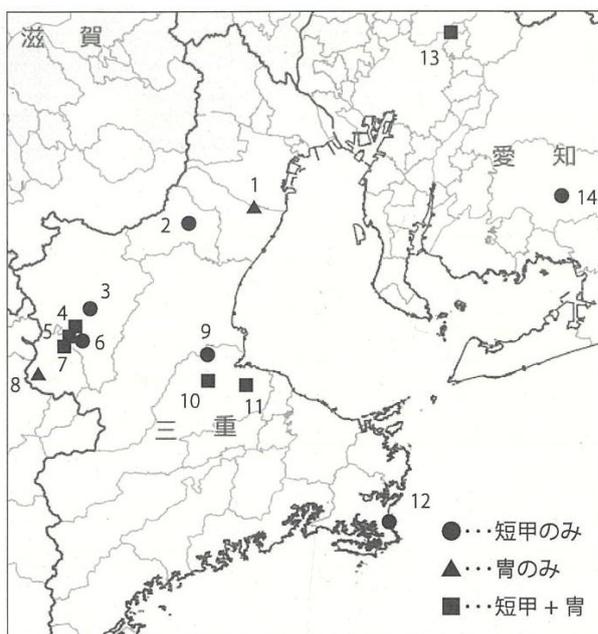


図1 三重県の帯金式甲冑出土古墳の分布 (縮尺任意)

表2 東海地方における冑の県別出土点数

県	衝角付				眉庇付	合計
	革綴	鉾留			小札	
		三角板	小札	横矧板		
三重	2	0→1?	0	1	2	6→7
		1 (調査中)				
愛知	0	1 (調査中)	0	0	0	1
岐阜	0	0	0	0	0	0
静岡	5	0	0	0	0	5
合計	7	1	0	1	2	12→13
		2				

鈴木一有 2005 に三重県の増加分を加筆

表1 東海地方における甲冑出土古墳

鈴木一有 2005 に三重県の増加分を加筆

番号	古墳名	所在地	墳形	規模 (m)	埴輪	甲	冑	頸甲	肩甲	付属具
1	富士山 1 号墳	三重県鈴鹿市国分町	造出付帆立貝式	55.7	○	?	小札鉾留衝角付冑			
2	大垣内古墳	亀山市山下町	円墳	20	×	横矧板鉾留短甲				
3	石山古墳 (東柳)	伊賀市才良	前方後円墳	120	○	長方形革綴短甲				
4	近代古墳	伊賀市上神戸	前方後円墳	30	○	三角板鉾留短甲	三角板革綴衝角付冑	○	○	
5	わき塚古墳	伊賀市上神戸	方墳	23	○	長方形革綴短甲	三角板革綴衝角付冑	○	○	草摺?
6	中出八王子社古墳	伊賀市上神戸	?	?	?	破片のみ				
7	冑塚古墳	名張市	方墳	50	○	三角板鉾留短甲	鉾留衝角付冑			
8	琴平山古墳 (後円)	名張市赤目町	前方後円墳	70	?		縦矧板鉾留付冑			
9	小谷 13 号墳	松阪市嬉野天花寺	円墳	16	○	三角板鉾留短甲				
10	八重田 16 号墳	松阪市日丘町	方墳	16	○	三角板鉾留短甲	小札鉾留眉庇付冑	○	○	
11	佐久米大塚山古墳	松阪市佐久米町	前方後円墳?	?	?	短甲	小札鉾留眉庇付冑			
12	おじよか古墳	志摩市阿児町	円墳?	17?	○	鉾留短甲				
13	志段味大塚古墳	愛知県名古屋守山区	前方後円墳	52	○	挂甲	鉾留衝角付冑		○	籠手
14	経ヶ峰 1 号墳	岡崎市丸山町	前方後円墳	35	○			○	○	
15	(伝) 岡崎	?	?	?	?	横矧板鉾留短甲				
16	薬師古墳		円墳	24	×				○	
17	龍門寺 1 号墳	岐阜県岐阜市長良	円墳	17	○	長方形革綴短甲		○	○	
18	中八幡古墳	揖斐郡池田町	前方後円墳	43	○	三角板鉾留短甲				
19	砂行 1 号墳	関市のぞみヶ丘	円墳	22	×	革綴短甲				
20	南青柳古墳	関市下有知	円墳	20	×	横矧板鉾留短甲				
21	狐塚古墳	静岡県浜松市北区	円墳	13	○	長方形革綴短甲				
22	千人塚古墳	浜松市有玉西町	円墳	49	○	三角板革綴短甲	三角板革綴衝角付冑	△	△	
23	土器塚古墳	磐田市中泉・国府台	円墳	36	×	長方形革綴短甲				
24	安久路 2 号墳	磐田市西貝塚	円墳	26	×	長方形革綴短甲	三角板革綴衝角付冑			
25	安久路 3 号墳	磐田市西貝塚	円墳	27	○	長方形革綴短甲			△	小札
26	五ヶ山 B2 号墳	袋井市浅名	方墳	33 × 28	○	三角板革綴短甲	三角板革綴衝角付冑	○	○	草摺?
27	石ノ形古墳	袋井市国本	円墳	27	○	横矧板鉾留短甲				
28	文殊堂 11 号	周智郡森町	円墳	18	×	三角板革綴短甲				
29	林 2 号墳	周知郡森町	円墳	16	×	三角板革綴短甲				
30	(伝) 幕ヶ谷	?	?	?	?	革綴短甲				
31	各和金塚古墳	掛川市各和	前方後円墳	62	○	三角板革綴短甲	三角板革綴衝角付冑	○	○	
32	南沼上 3 号墳	静岡市清水区	円墳	16	×	三角板革綴短甲	三角板革綴衝角付冑			
33	多田大塚 2 号墳	伊豆の国市葦山	円墳	16	×	横矧板鉾留短甲				
34	多田大塚 4 号墳	伊豆の国市葦山	円墳	20	×	横矧板鉾留短甲				

## 調査成果と今後の予定

### 1 調査成果

- ・全長 55.7m と周辺地域で格段に大きい規模を誇る
- ・典型的な前方後円墳ではなく帆立貝式であるものの、造出をもつ
- ・造出に朝鮮半島南西部（百済・馬韓辺りの地域）に由来する陶質土器（須恵器か）を供献している
- ・出土した埴輪や須恵器、冑などの遺物の特徴や馬蹄形の周濠や葺石を持つ構造などから、5世紀後半の築造と推定できる
- ・埋葬主体が未盗掘であり、粘土で棺桶を囲う方法（粘土槨）を採っている
- ・武器の一つである小札鋌留衝角付冑を副葬している

⇒ 鈴鹿川下流域における5世紀後半の有力首長

※ 今後の調査を通して、大和王権と関わりや武人等の詳細を検証していく

### 2 今後の予定

#### (1) 現地説明会

日 時 令和8年3月14日（土） 午後1時30分から3時まで

1時30分から約30分間、説明します。その後、3時まで随時説明します。

雨天中止（少雨決行）。中止の場合は鈴鹿市考古博物館のウェブサイトでお知らせします。

会 場 富士山1号墳発掘調査現場（鈴鹿市国分町地内）

駐車場はレインボー会館前（鈴鹿市国分町900-45）をご利用ください。

駐車場から会場までは徒歩5分程度です。会場付近に駐車することはできません。

参加方法 参加費無料。事前申し込み不要。

開催時間までに会場へお越しください。

そ の 他 冑は脆弱のため養生して取上げ済みです。現地にはありません。

そのため、鈴鹿市考古博物館（鈴鹿市国分町224）にて、養生して取上げた状態

（発泡ウレタンなどで梱包されている）を3/29まで展示します。なお、現地説明会

参加者は、当日に限り博物館観覧料を無料とします。

注意事項 古墳の斜面は大変すべりやすくなっています。必ず 運動靴 でお越しください。

(2) 出土した甑の展示 ※速報展「発掘された鈴鹿 2025」の1つのブースとして行います。

日 時 令和3月14日(土)から3月29日まで(日)  
午前9時から午後5時まで(入館は4時30分まで)

※ 3/16(月)・17(火)・23(月)は休館日となります。

※ 3/29以降はパネルのみの展示となります。

場 所 鈴鹿市考古博物館

観覧料 200円(速報展と常設展共通)

※ 現地説明会参加者は当日に限り無料とします。

その他 展示の詳細は、速報展「発掘された鈴鹿 2025」で説明します。

(3) 甑の保存処理

令和8年度事業として実施予定

※1年程度かかる見込み。その後、改めて公開いたします(日程未定)。

(4) 今後の発掘調査等の予定

・令和8年度 第6次調査

トレンチ11～13 継続 → 埋葬施設の追及、後円部と前方部の接続方法、後円部の直径

・令和9年度 第7次調査

トレンチ14～15 → 南側くびれ部、前方部の北西隅 ※現地調査終了

・令和10～11年度

整理作業 → 報告書刊行

・令和12年度以降

遺跡の史跡指定・出土品の文化財指定の可否判断

# 富士山 1号墳（第5次）発掘調査 現地説明会のご案内

令和7年12月から富士山1号墳の墳頂部を調査したところ、未盗掘の埋葬施設が確認され、約1,500年前の鉄製の冑かぶとなどが出土しました。

すばらしい成果が得られましたので、現地を公開いたします。

ぜひ、実際の発掘現場までお越しいただき、本物の古墳がもつ臨場感や魅力を感じていただきたいと思います。

日 時：令和8年3月14日（土）

13:30～15:00

※ 説明時間30分程度（以後、順次説明します。）

※ 雨天中止（少雨決行）。詳細は、鈴鹿市考古博物館のウェブサイトへ。



会 場：富士山1号墳 発掘現場（鈴鹿市国分町地内）

駐 車 場：レインボー会館前（裏面地図参照・会場まで徒歩5分）

参加方法：参加費無料。事前申し込み不要。

## 注意事項

※冑は脆弱で取り上げ済みのため、現地にはありません。

※古墳の斜面は急傾斜で、大変滑りやすくなっています。

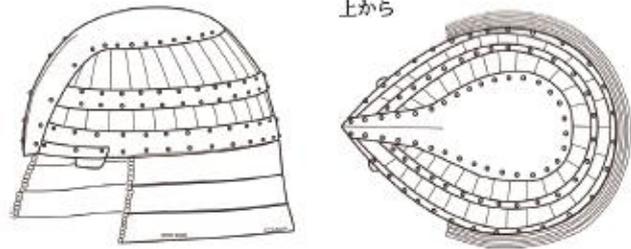
必ず 運動靴 でお越しください。

（裏面へ）



埋葬施設と甕（南東から）

※ 甕は脆弱なため、梱包して取り上げ済みです。梱包した状態のものを鈴鹿市考古博物館で、3/29まで展示しています。



富士山1号墳出土甕のイメージ図



後円部上段の葦石の基底列  
（北東から）

令和6年度の調査区

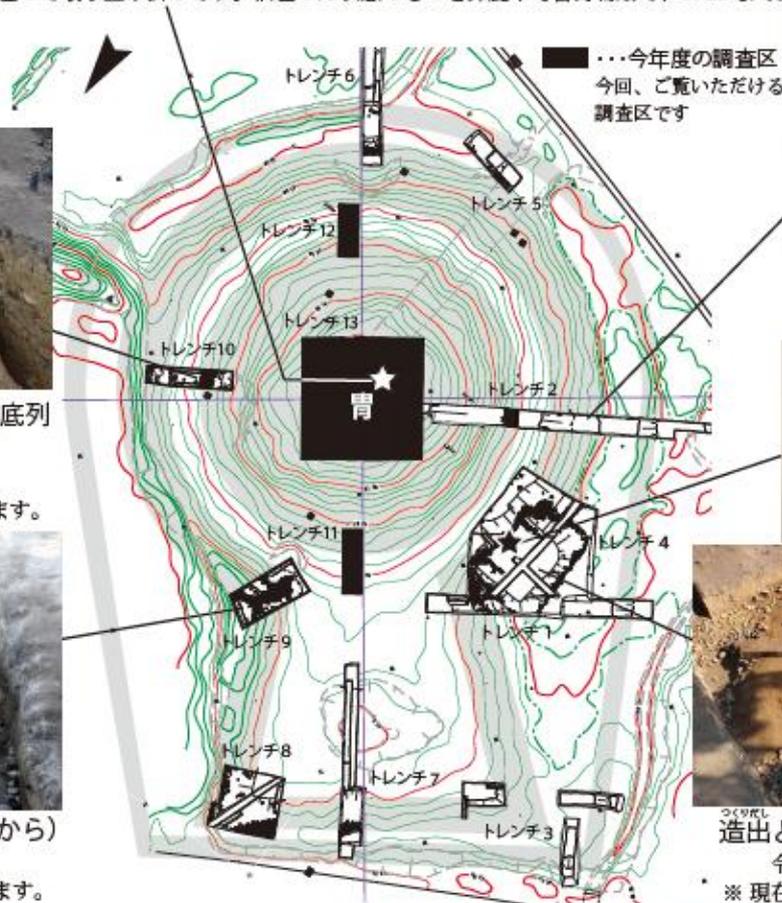
※ 現在は埋め戻してあります。



くびれ部の葦石（北東から）

令和6年度の調査区

※ 現在は埋め戻してあります。



まんどう埴輪  
円筒埴輪  
令和2年度の出土



造出と陶質土器（西から）  
令和3年度の調査区

※ 現在は埋め戻してあります。



富士山1号墳遠景（南西から）

※ 左側の平坦部が前方部、右側の高まりが後円部。

問い合わせ先

鈴鹿市 文化スポーツ部 文化財課 発掘調査グループ

電話：059-374-1994（考古博物館内）

FAX：059-374-0986

E-mail：bunkazai@city.suzuka.lg.jp